

市の取り組み

安心・安全な冬の道をつくる「除雪・排雪」

市では毎年約150億円の予算を組み、さまざまな雪対策を行っています。その中心となるのが、除雪と排雪です。

除雪

降雪が10cmを超すときなどに、夜間から早朝にかけて実施。除雪車が道路の雪を左右にかき分けます。



1kmにつき
約3万円
掛かります

ひと晩に行う
除雪距離は
約5,400km



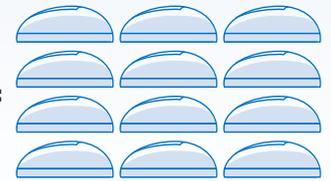
排雪

積雪が増す1月以降に実施。幹線道路や通学路などの道路脇に積み上がった雪を、雪たい積場まで運びます。



1kmにつき
約240万円
掛かります

ひと冬当たりの
排雪量は
約1,800万³m³
(民間による排雪も含む)



札幌ドーム12個分

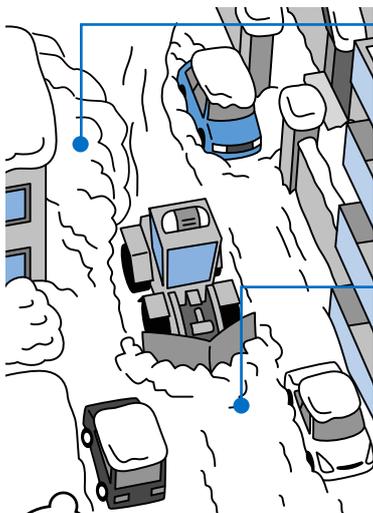
市では除雪と排雪を通して、皆さんが安心して利用できる冬の道づくりを進めています。しかし、一部の方のマナー違反が取り組みの効果を弱めてしまっています。



効率的に
作業を進める
ことが大切
なんだが！

安心して利用できる冬の道づくりを妨げる2大マナー違反

路上駐車をする...



左右の雪の量に
片寄りがある

車を避けて除雪すると、車の反対側に雪が多く集まり、片方の住民に迷惑が掛かります。

除雪作業が困難に

車が道幅を狭めるため、除雪車が通りにくくなり、作業に時間がかかります。

夜間の路上駐車の数
約8,100台/日 (25年2月、市調べ)

道路への雪出しをする...



車や歩行者の
通行に支障

道幅を狭める、でこぼこになるなど、交通事故や渋滞の原因となります。

排雪量が増加

自宅の雪は自宅で処理するのが原則。雪を道路に出すと、排雪量が増えて作業に時間がかかります。

道路への雪出し箇所の数
約2,100カ所/日 (25年2月、市調べ)

次のページでは、こうしたマナー違反をなくすための地域の取り組みと冬の暮らしを支える学生の活動を紹介しますぞ！